

# TONARI

## 2017 夏号

グッドネーバース・ジャパン会報

### CONTENTS

- カンボジアの小学校にトイレを建設
- タンザニアのホープスクールが完成
- グッドギフトで本と技術研修をプレゼント
- バングラデシュ早婚への取り組み
- カンボジアのクメール文化
- ちびっこおえかきコンテスト表彰式
- SNSの投稿1件が子どもの給食1食分に
- リサイクル参加者が1万人を超えました
- アメリカからのインターンが活躍中!
- TONARIがメールになります



# 海外事業

コミュニティ  
開発

## カンボジアの小学校にトイレを建設

グッドネーバーズがカンボジアのプレアスレー小学校に建設していたトイレが、2017年2月に完了しました。小学校の生徒105人と教師3人、近くに住む95世帯が清潔なトイレを使うことができます。



### トイレがないと…

- ・草むらなどで用を足さなければならないため、衛生環境が悪化し、感染症蔓延の原因に。
- ・特に女性は不安や恥ずかしさを感じるため精神的負担が大きく、人の少ない場所に用を足しに行き、暴力やレイプの被害に合うことも。

この小学校があるトーマクールという地域は上下水道が整っておらず、トイレのある家庭がありません。小学校にもトイレがなかったため、生徒や教師は草むらで用を足すしかありませんでした。しかし今は男女別のトイレができ、安心して快適に用を足すことができます。時間をかけて草むらまで行く必要もありません。また周りに住む人々もトイレを使うことができるようになったため、地域全体の衛生環境改善にもつながることが期待されています。長く清潔に使い続けられるよう、今後はグッドネーバーズの助言のもと、学校が責任を持ってトイレを管理します。

コミュニティ  
開発

## タンザニアのホープスクールが完成

2017年1月、タンザニアのザンジバルで100校目のホープスクール「クアララ・トゥ・マイニ中等学校」の完工式が行われ、ザンジバルの大統領や教育大臣、地域住民約300人が集まり学校の完成を祝いました。グッドネーバーズが韓国のテレビ局SBSや他のNGOと協力して進めてきたホープスクールプロジェクト。最後の学校は中等学校です。タンザニアでは初等教育が無償で行われているため、小学校の就学率は93%と高いですが、中等学校の就学率は28%と大幅に減ってしまいます(UNICEF,2015)。この現状を打開するためには中等教育を受けられる環境を整えることが必要だと判断し、「クアララ・トゥ・マイニ中等学校」の建設に至りました。



中等学校と一緒に建設された「メディア教育センター」では、青少年にメディア技術を教育し、子どもの権利を啓蒙する映像や、子ども達の学習のためのビデオなどを制作します。それらの映像はメディアセンターやeラーニングサイト、ザンジバル公営テレビ局を通して放送される予定です。メディアを活用することで、この中等学校に通う生徒だけでなく、より多くのタンザニアの子ども達や地域の人々が多様な教育プログラムを受けることができるようになります。

2016年の1月から12月までにグッドギフト\*を通していただいたご支援で、コミュニティ開発のプロジェクトを実施しました。ここではケニアとネパールでの活動をご報告いたします。ご協力くださった皆さま、誠にありがとうございました。

\*グッドギフト…選んだギフトがグッドネーバースを通して途上国の人達に届けられるギフトカタログです。グッドネーバースのホームページからお申込みいただけます。

2016年グッドギフトご報告

ご支援総額：447,721円  
参加人数：2,440人

## ケニアの学校に教科書と本のギフト

グッドネーバースはケニアのコロゴチヨ地域でジラニ教育センターを運営し、スラム街に暮らす子ども達を支援しています。2017年の3月、ジラニ教育センターに教科書87冊と図書室に本52冊を提供しました。

1年生から8年生までの子ども達は英語、科学、数学、社会科、スワヒリ語を勉強しています。教科書は3~4人のグループで一緒に使う大切なものです。長く使っていくため、子ども達は教科書を家に持って帰らずに学校が管理しています。今回提供した教科書はケニアの教育省が定めた教科書です。特に8年生は中等教育に進むために全国統一試験（KCPE：Kenya Certificate of Primary Education）を受けなければならないので、この教科書を使って一生懸命勉強しています。

またジラニ教育センターには図書室がありますが、生徒の数に対して本が足りていませんでした。しかし今回図書室に本を提供したことで、より多くの生徒が本を読むことができるようになります。本を読むことは作文や読解の力をつけることだけでなく、子ども達の世界を広げ豊かにすることにもつながります。

グッドネーバースは教育を通じて、スラム街に暮らす子ども達が逆境に負けず、夢を持って成長していくことができるように応援していきます。



## ネパールで収入向上のための農業研修を実施

グッドネーバースはネパールのカイラリ郡パタライヤ地域で農業の自助グループに技術研修を実施しました。この地域では774人の子どもの教育支援を行っており、子ども達の親の多くは収入向上のための自助グループに所属しています。子どもへの教育支援だけでなく、家族への自立支援を通して家庭の収入が増えることで子ども達の生活環境も改善され、明るい未来につながります。



研修に参加した自助グループのメンバー達は、ビニールハウスや温室、土や水の管理など促成栽培に関する技術を学びました。

2年前から収入向上のプロジェクトに参加しているビジャヤさん（写真上）は、今では農業や漁業で得た収入で3人の子ども達を学校に通わせることができるようになりました。自分の収入で子ども達に教育を受けさせてあげられることは、親としての自信にもなっています。

## ギフトを贈って子ども達を笑顔に

昨年いただいたご支援は気持ちのこもったギフトとなって途上国の人々に届き、希望を与える大きな力になりました。2017年も引き続きグッドギフトでのご支援を受け付けています。ぜひご参加ください。

## グッド・ダディ・キャンペーン



結婚できる年齢は国によってそれぞれ異なっていますが、まだ幼い年齢で結婚すること（早婚）は特に女の子の権利や夢を脅かします。早婚が起こる原因の多くは古くからの慣習によるものですが、実は貧困問題も大きく関わっています。世界では約7億人の女の子たちが18歳以前に結婚しています。

早婚はエイズや性病などの感染の危険性を高め、出産する際には母子ともに命の危険にさらされます。また、早婚によって早くから教育を受けられなくなることで、安定した仕事に就ける可能性が大幅に減り、貧困サイクルを繰り返すことにもなります。結論として早婚は子どもたちの健康や成長だけではなく、将来の可能性や希望までも奪っています。

## 娘の将来のための約束

バングラデシュは早婚の割合が特に高い国の一つです。52%の女の子が18歳以前に結婚しており、また18%は15歳以前に結婚しています。結婚できる年齢は18歳と法律で定められているのですが、多くの子どもたちは出生届が出されていないため、法律で子どもたちを守ることが難しいのが現状です。

そこで、グッドネーブーズ・バングラデシュは、こうした早婚や児童労働に対して子どもたちの権利を守るため、様々な運動を展開してきました。その一つである「グッド・ダディ・キャンペーン」という新しい運動は、早婚の解決のために父親が重要だという事に気づき、発案されたものです。

この運動に参加する父親は、早婚が生み出す問題点や影響を理解し、自分の娘が大人になるまで結婚させない事を約束します。両親だけではなく子ども達や教師、地域の人々が参加し、早婚や子どもの権利について学ぶことが出来、昨年だけでも、約2万2000人の人達が参加し、多くの政府やメディアから注目されました。この運動は全国へ波及し、40人の早婚の危機に遭った女の子たちを解放することにつながりました。



カンボジアの文化の中で、古来からのクメール文化を体感できるのが、カンボジア古典舞踊として知られているアプサラ・ダンスです。アプサラとは、インド神話に登場する女神のことで、元々アンコール朝時代に神へ捧げる祝福の舞として宮廷や儀式などで女性たちが踊っていたものだったと言われています。その後、アンコール朝はタイのアユタヤ朝に滅ぼされ、アユタヤ朝・フランスの植民地支配時代、ポルポト政権下などでアプサラ・ダンスは形を変えながら人々の強い意志で受け継がれ、現在では一般の人々にも国民的文化として認識され、広く普及しています。また、2003年にはユネスコ無形文化遺産に登録され、カンボジアが誇る伝統文化として定着しています。

現地では、このアプサラ・ダンスを鑑賞できる場所が多くあります。例えば、アンコール朝時代の建築物で、世界遺産として登録されているアンコール・ワット遺跡群があるシェムリアップ州では、レストランのショーとして豪華な衣装に身を包んだダンサーたちの美しい舞踊を見ることができます(写真上)。その優雅な舞踊から、カンボジアの古典文化を感じることが出来ます。



アンコール朝時代に建築されたアンコール遺跡群というものがあり、その一つがアンコール・ワット(写真下)です。カンボジアの国旗の中央部にも載せられています。元々はヒンドゥー教寺院として建てられていたのですが、後に仏教寺院として改修されました。

クメール建築様式の遺跡と共に、遺跡内ではインド神話の壁画彫刻や仏像などが鑑賞でき、当時の様子に思いを馳せることが出来る文化遺産です。

# 国内事業

レポート

## ちびっこおえかきコンテスト表彰式

2017年2月25日、ベネッセ多摩オフィスにて「第四回親子でチャレンジ国際理解！ちびっこおえかきコンテスト」の表彰式を行いました。子ども達が世界にふれるきっかけをつくることを目的に、応募者1,217名の中から、受賞した園児30名を含む100名以上のご家族や園の先生方が参加し、にぎやかな会となりました。



会場には受賞作品やサディップくん家族の等身大のパネルが展示され、記念撮影をしたりサディップくん思いをはせる時間となったようです。子ども達は他のお友達の作品も興味深そうに見ていました。表彰式が始まると一人ひとりに賞状と賞品が授与され、子ども達は少し恥ずかしがりながらも嬉しそうに受け取っていました。

楽しい表彰式の思い出と共にサディップくんのことが子ども達の心に残り、より世界に目を向ける機会となったなら幸いです。

### 参列した方の感想

・子どもとサディップくんについて話すことで一緒に国際理解につながるようなことができた。普段日常生活において、伝えたくても伝えられないことが多いがDVDや絵を描くことで子どもと考える時間を共有できた。（保護者様）

・毎日が約束されているような日本でのあたり前の生活が実はあたり前ではないことを生徒達を知る機会となりました。その中で幼少期の子供がそれぞれに何かを感じ涙したり、色々な事を質問している姿に、幼いながらしっかり熱いものを感じ心震わせる気持ちを抱けることを嬉しく思うと同時に多文化共生の理念を育み、平和で公正な地球社会作りに参加する態度を養う大切さを改めて考えました。（園の先生）

### 団体賞 かこのこ保育園様訪問

2017年3月17日、団体賞を受賞したかこのこ保育園様を訪問し、積み木をプレゼントしました。同園からは72作品の応募があり、園とご家族の皆様が協力して「世界を知るきっかけになれば」との思いで参加してくださいました。子ども達がコンテストのDVDを観てから4か月ほど経っていましたが、サディップくんの名前や住んでいる国を覚えている子もいました。



### サディップくんに絵を届けました

コンテストの上位入賞10作品をネパールのサディップくんに届けました。絵の裏には翻訳した保護者の方からのメッセージが貼ってあります。スタッフが1枚ずつ読み聞かせると「海外にたくさんのお友達がいることを知って、とても元気が出ました。」と、日本のお友達からの絵にとっても喜んでいました。



次のページでサディップくんの近況とメッセージをご紹介します。

## サディップくんからのメッセージ

日本のお友達から絵を受け取ったサディップくんが、お礼の手紙と絵を描いてくれました。



### 友達みんなへ

ナマスカー!(こんにちは)  
僕は元気です。みんなも元気だと嬉しいです。僕に絵と手紙をおくってくれたことに、ありがとうございますと言いたいです。どの絵もとても好きです。絵を描いて僕に元気を送ってくれて、本当にありがとうございます。お手紙でも応援してくれてありがとうございます。

僕は毎日学校に通っています。学校で勉強することができて、とてもうれしいです。僕と家族を応援して、愛と幸運を祈ってくれてありがとう。絵は思い出として大切にとっておきます。僕を幸せな気持ちにしてくれて、本当にありがとう。僕も家族も、とても幸せです。

サディップより

## サディップくんの近況

現在サディップくんはグッドネーバースの支援を受けて、元気に学校に通っています。学校に友達がたくさんいること、校庭でサッカーをするのが好きなことをスタッフに話してくれました。地震で壊れた家は支援を受けて建て直し、今は丈夫な家で暮らしています。また家族は収入向上プログラムに参加して野菜栽培を始め、収入も安定してきたため、サディップくんの将来に向けて貯金したいと話しています。



おばあちゃんと一緒に



勉強も遊びも楽しい



新しい家と野菜栽培のビニールハウス

「第四回親子でチャレンジ国際理解!ちびっこおえかきコンテスト」に参加して下さった皆様、ご協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。今年度はフィリピンのゴミ山で働く8歳の男子、マークくん絵を届けます。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

## お知らせ

# SNSの投稿1件が子どもの給食1食分に

グッドネーバース・ジャパンは株式会社ジプソフィラの協力のもと「生酵素チャリティ」を実施しています。

### 生酵素チャリティとは?

株式会社ジプソフィラが提供する生酵素サプリメントなど、「からだのレシピ」シリーズの商品が写った写真に「#生酵素チャリティ」と書いてInstagramまたはTwitterに投稿すると、エチオピアの子どもの給食1食分がグッドネーバースに寄付される仕組みです。



### チャリティの流れ



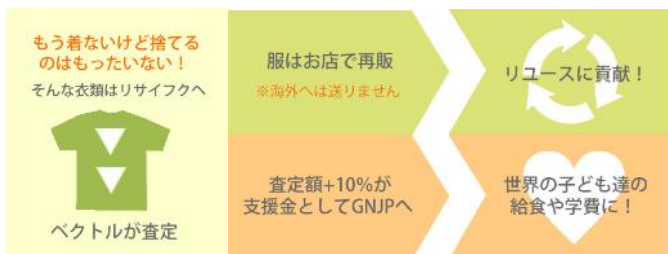
グッドネーバースがエチオピアのスラム街、リデタ地域で運営しているメルカム幼稚園では、経済的な理由で幼稚園での給食が1日の唯一の食事である子どもが多くいます。5歳~7歳という発育にとって大切な時期に、栄養のある食事は欠かせません。

「生酵素チャリティ」では生酵素で健康になりながら、エチオピアの子ども達にも給食を通して健康を届けることができます。キャンペーンは2017年3月にスタートし、これまでに902食分の寄付が集まっています。(6/7現在) キャンペーンサイトはこちら <http://www.karadano-recipe.com/Charity/top.html>

## リサイクル参加者が1万人を超えました

古着を寄付して途上国の子ども達を支援する「リサイクル」。株式会社ベクトルとグッドネーバース・ジャパンの協同事業です。古着はリユースされ誰かの大切な服に、査定額+10%が途上国の子ども達の給食・医療・教育などの支援になります。これまでリサイクルに参加してくださった方は1万人を超えました。

## リサイクルの仕組み



## 例えば…



## 参加した方からのメッセージ

- ◇ こんなに小さなことから寄付に参加できるなんて驚きでした！
- ◇ 送料無料で手軽に衣類を寄付できるのがいいですね。捨てるには惜しいと思ってタンスの肥やしになっていた衣類で社会貢献ができたという満足感があります。
- ◇ たまに駅で見かける募金活動や、いろいろな店のレジ横の募金箱。何かしないと、と思いながらもできずにいました。リサイクルは、そんな見ているだけの私にきっかけを与えてくださいました。今後も是非続けていきたいです。
- ◇ 少しでも誰かの役にたてるならと思い申し込みました。まだ着るかもしれない服といって捨てられなかった服も寄付になるなら、気持ちよく送る事ができました。
- ◇ 着なくなったモノを捨てるのではなく、世界の人たちのために有意義に活用される取り組みがあることを知り、申し込みしました。これからも支援の輪を広げて行ってほしいです！

## 学校・企業での取り組み

リサイクルには個人だけでなく、企業・学校の活動としてご参加いただくこともできます。

## 株式会社アドビシステムズ様

アドビシステムズでは、世界的にどこのオフィスでもCSRに力を入れています。今回のリサイクルも、社内から古着回収を行うことで社会に貢献しようという声が上がったことからプロジェクトが始まりました。

社内での古着回収プロジェクトは1カ月の間、協力的に、そして積極的に行われました。

募集の準備や梱包作業なども、業務ではあまり交流のない部署の社員たちが集まって楽しみながら作業を行っていました。

私たちのこのような活動が、世界の子どもたちの支援に役立てていただけることを嬉しく思っています。



## 洗足学園中学高等学校青少年赤十字部(JRC部)様

洗足学園中学高等学校青少年赤十字部(JRC部)では、部員の意志で様々なボランティア活動を行っています。

今回も、家庭で必要とされなくなったものを発展途上国の必要としている人のために、環境のために有効活用できないかと思い、検索して見つけたのがグッドネーバース・ジャパンでした。連絡をすると、とても丁寧で柔軟に対応していただき、活動に取り組みやすかったです。

今回の活動を通して、わずかですが全校生徒に発展途上国の現状を理解してもらい、自らが行動を起こすきっかけとなり、一人一人主体的に活動することができたと思います。



リサイクルのお申し込みはグッドネーバース・ジャパンのホームページから受け付けております。これからもどうぞ協力よろしくお願いいたします。

## インタビュー アメリカからのインターンが活躍中！

6月の中旬から約2か月間、グッドネーバース・ジャパンの事務所ではアメリカのアラム大学から3人のインターンを受け入れています。3人に趣味やインターンシップの参加理由などを聞きました！

### アーロンさん

子どものころからテニスをしていましたが、大学に入学してから卓球を始めました。好きなものは甘いもの、お米で、特に丼ものが好きです。カリフォルニアでは日本食のレストランで働いていました。三年前に日本語を習い始め、将来は日本語を生かした仕事をしたいです。また、教師など人を助け社会の役に立てるようになりたいと思っています。日本では温泉に入ったり、卓球をしたり、せっかく日本にいますので日本語をもっと使う機会を増やしたりしたいと考えています。



左からアーロンさん、エミリーさん、ペイさん

### エミリーさん

趣味はカヤックをすること、料理をすること、人物画を描くことです。アメリカでボーイスカウトや子ども達の手助けをするボランティアをしていました。そのため、世界の子どものために働くグッドネーバースの理念に共感し、インターンに参加することにしました。日本では、大学二年生の時に学校のプログラムを活用して岩手県盛岡市の大学で英語を教えていたため、そこでできた友達に会いたいです。また、渋谷でショッピングをしたり、東京スカイツリーに行ったりしてみたいです。

### ペイさん

好きな本や自作のキャラクターの絵を描くことや作曲をすること、家の近くの動物センターのボランティアに行くことが好きです。私はアメリカで子ども達の学習支援をするNPOで働いていて、NPOの活動に興味があり、また将来日本語と英語の翻訳者になりたいので日本語の勉強のためにもこのインターンシップに参加しました。日本ではいろいろな食べ物や有名な場所を訪れて、日本の文化について学びたいです。

## お知らせ TONARIがメールでのご報告に変わります

これまで会報TONARIをご愛読いただき誠にありがとうございました。TONARIは次号より「グッドネーバース ニュースレター」としてメール版に生まれ変わります。より充実した内容をお届けしてまいりますので、どうぞお楽しみに！

### 編集後記

- ・こんにちは。アルバイトの横道です。初めてTONARIの発送作業をした時、こんなにたくさんの方が支援してくださっているのだと驚いたことを覚えています。紙でのTONARIが終了するのは少しさみしく感じますが、メールでのニュースレターも楽しく読んでいただけると嬉しいです。
- ・こんにちは。インターンの松本です。初めてTONARIでいくつか記事を書かせていただきました。この会報を通じてより多くの方にグッドネーバースの活動を知っていただければと願っております。

### お問い合わせ・資料請求

☎ 0120-916-010 (平日10時～18時)

[Email] [sup@gnjp.org](mailto:sup@gnjp.org)

### 住所変更のご連絡をお願いします！

ご住所やメールアドレスを変更されたサポーター様は、お手数ですが、グッドネーバース・ジャパン事務局までお電話、またはメール(左記参照)にてご連絡ください。※GNJPアカウントをお持ちの方は、HPからマイページへログインの上、ご自身で登録情報をご変更くださいますようお願いいたします。

子どもサポーター

検索

 Good Neighbors

発行：認定NPO法人 グッドネーバース・ジャパン

〒143-0016 東京都大田区大森北2-14-2大森クリエイティブビル3階

[Tel] 0120-916-010 [Fax] 03-6423-1766 [Email] [admin@gnjp.org](mailto:admin@gnjp.org)

[URL] <http://www.gnjp.org> [Facebook] [facebook.com/gnjp](https://www.facebook.com/gnjp) [Twitter] @GNJapan